

唐津街道姪浜と言え、まず「歴史」を想像される方が多いと思いますが、歴史的な資源だけでなく「路地」「商店街」「海」「魚」「祭り」「花・緑」などの様々な魅力資源があります。今回は、まち歩きで見つけた季節感漂う花々をご紹介します。

かあらり版

唐津街道姪浜まちづくり協議会

第二号

発行日：平成二十三年二月二十日
発行元：唐津街道姪浜まちづくり協議会
事務局／福岡市西区姪の浜三丁目三二一七マイツル味噌内



発行にあたって



『唐津街道姪浜まちづくり協議会』会長の川岡でございます。昨年9月の創刊号に引き続き、瓦版の第2号を発行することになりました。

創刊号は、当初印刷した3,000部がすぐになくなり、急ぎよ増刷するなど、大きな反響がありました。また、地域の皆さま方からご賛同とご協力の声をたくさんいただき、活動の励みといたしております。

さて、当協議会が発足して早くも4年になります。活動の領域も広がり、今では大学、NPO、行政、そして唐津街道のまちおこしに取り組み他の地域と連携した活動も多くなっております。第2号では、そうした取り組みや現在作成中のまちづくり計画案を中心に紹介いたします。

活動報告

(1)九州大学やNPO、行政との共働事業

昨年の7月、九州大学の大学院生を対象にした『アーバンデザインセミナー2010』がマイツル味噌で開催されました。これは、九州大学の大学院生約15名が、「歴史」「回遊」「地域の活性化」「町並み」などをテーマに、姪浜のまちづくりについての提案を発表し、地域の皆さま方と活発な意見交換を行ったものです。

姪浜には、日本誕生神話や神功皇后伝説のある海岸、奈良時代や鎌倉時代からの歴史を持つ神社やお寺の数々、元寇防塁跡、江戸時代に栄えた街道や廻船が出入りした港、大正から昭和30年代にかけての炭鉱など、様々な歴史が積み重なっています。



埋め立てによってつくられた姪浜駅周辺や海辺などには現代的な商業施設や高層マンションなどが建ち並び古くからの街道や港の風景とは対照的な表情を見せています。このように姪浜は、時代や目的によつてそれぞれ異なる空間づくりの技術が用いられ、風景が上書きされ続けてきました。

今回のテーマは「上書きされた都市」ということで、多彩な歴史を持つ姪浜にふさわしいテーマでした。空間特性、都市形成や商業空間の変遷、歩行者空間のあり方などについての学生の皆さんの斬新な視点と大胆な提案につつましては、今後の地域づくりに大いに参考にさせていただきますと考えております。

また、10月にはNPO法人FUKUOKAデザインリーグ及び福岡市と共催で、『景観歴史発掘ガイドツアー』を行いました。宿場町、商人町、漁師町、寺町などの様々な顔を持つ姪浜の歴史の痕跡とまちの風情、そして食文化にも触れていただくというツアーでした。コースは今までのガイドツアーとほとんど変わりませんが、よかとこ案内人の皆さんの専門である「歴史」の視点に加え、デザインリーグの皆さんの専門である「都市計画、建築」の視点が加わることで、より充実した内容になりました。

また、新たな町家やお寺をコースに加えた他、昼食も老舗の「達揮(たつき)」さんのご協力により特製の姪浜弁当(地元でとれた野菜や魚を使用した)にしたことで、参加した皆さんに姪浜らしさを伝えることができたと思います。



